

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス こぼの空		
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日		令和6年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日		令和6年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職(言語聴覚士・保育士・児童指導員等々)による療育を行うことで、子どもたちとの関わりの中、様々な方向から観察し療育にあたることができる。	自分で解決ができない時は、代表や管理者に助言をもらいながら解決に導けるよう努めている。また昼礼等に限らず、報告が必要な場合はその都度行うようにし、全体で共有が必要な場合は、会議等で報告をするようにしている。	施設内を見渡し、職員の配置ができていないか、見守り不足はないか等々、各々が意識的に動けるよう、職員間で声掛け促しを行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	下校時間が学校によって違うため、学校ごとに活動のスタート時間が違う。その為、より職員間での連携が必要と感じる	送迎から療育活動まで、主になる職員以外は机上課題等々の見守りに入るが、それ以降は指示を待っている様子が見受けられる。その為、自発的に何が必要なかを考え行動に移すことができるよう改善していきたい。	日々の療育において、報告・連絡・相談を基本に、業務の分担化や役割を明確にしながらスムーズに療育にあたるよう改善していきたい。